

《平成 29 年度》

吉岡製油有限公司（埼玉県入間市）

【事業名】 廃食油発電および高効率原料調達システムに関する事業化調査

【事業の背景・経緯】

弊社は、国内の食品工場などから産業廃棄物として排出される廃食油のリサイクル事業を営んでいます。産廃として排出される廃食油は、国内で年間約 45 万トン程度であり、このうち 70%以上が家畜飼料の原料にリサイクルされています。

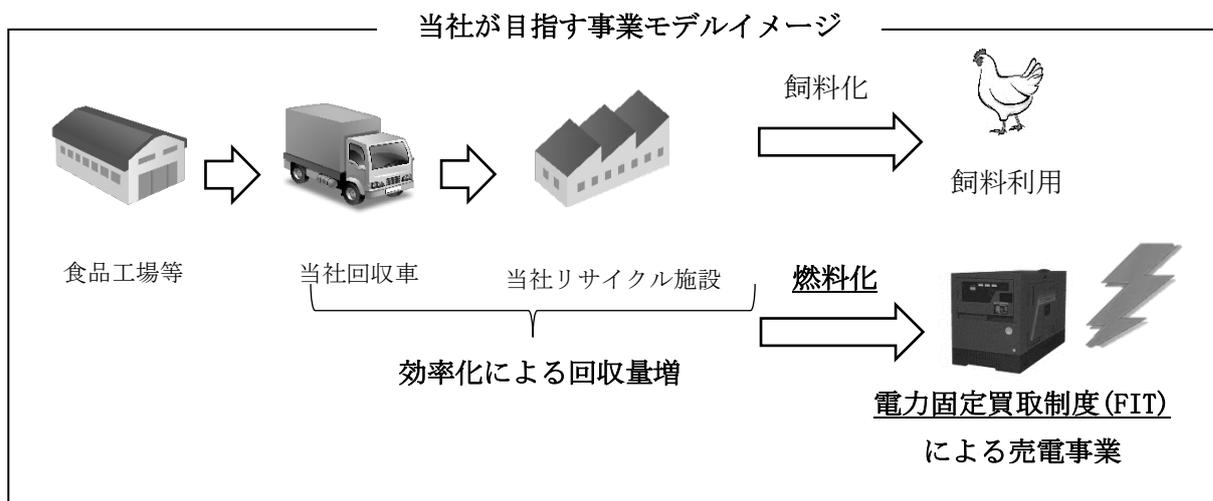
しかし近年、TPP 等を含む国内外の社会情勢や原油価格の変動に伴い、飼料原料の調達価格の変動幅が大きくなってきています。そのため、弊社としても、飼料以外のリサイクル方法・ニーズを早期に発見・発掘する必要があると考えました。

また、飼料化できない品質の廃食油は廃棄されていましたが、これも大切な資源としてリサイクルすべきだと考えました。

【事業概要】

飼料化以外の利用方法として有望なのは、「燃料化」であると考えます。ディーゼルエンジン発電機を活用して、電力固定買取制度(FIT)による売電事業が事業化できれば、新たなリサイクル分野の開発ができ、かつ低品質廃食油のリサイクルに貢献ができます。

また、飼料化を継続しつつ、燃料化・売電事業を実施していくには、より多くの廃食油が必要となります。そこで、廃食油回収・処理フローの効率化を図ることにより、事業化を現実的なものにしていくことが可能となります。



このように、弊社を取り巻く環境の変化や、新たな事業分野への可能性を勘案し、本助成事業において、①廃食油を原料とした燃料化および売電事業、②原料投入フローの効率化について、事業化に向けた調査を実施いたします。